

あれから数日後――

旦那が生きていて
―安心なものの
それと食料は
結びつかないもので――

次は早めに帰るとは
いったものの――



あ……いや……
今日……は……

今日もいいもん
おまけしとくよ



こうしてまた
少しばかりのおまけを
受け取るしかなかった――





20分後……





ほれえっ!!

だっだんな様の
たくましいのっ

私にお世話させて
下さり
ありがとうございますっ



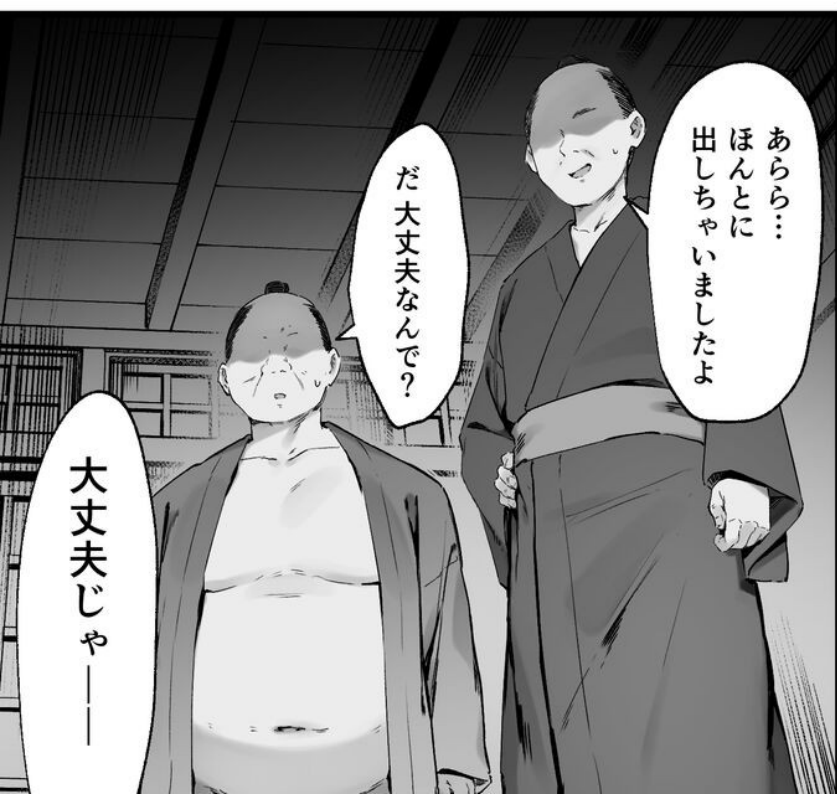
ほれお前さんの好きな
やつじやろう
いつも通りにせんか

.....っ



ほ本日も...
どうかお恵みください....

はははは
よーしよからう



なんてったって
こないだ旦那と
散々子作りしたからな

ああちゃんと
聞いてたさ

え旦那と？
そうなんですか？

ええええ
ええええ

だからまあ
もう旦那の子供が
いるだろうさ

ワシらがいくら
射精しても
旦那にはかなわんさ

なるほど
ちげえねえ









お願いしますっ……
もう中はご堪忍ください……

何でもしますから……

安心せい
今度はちゃんと
外にだしやる

ありがとうございますっ……
どうか…どうかあ……っ

あっ
あっ

うっ

あっ

あっ
あっ





ねーおっとお聞いて
今日お役人さんがね…



おっとお
おかえりっ

かえりー

よーおまえら
元気にしてたか？



数カ月後――

ただいまー
腹減ったぞー



もう少しで
ご飯できるからね

おかえり――